



9月の園だより

H26.9.1発行 同仁東保保育園

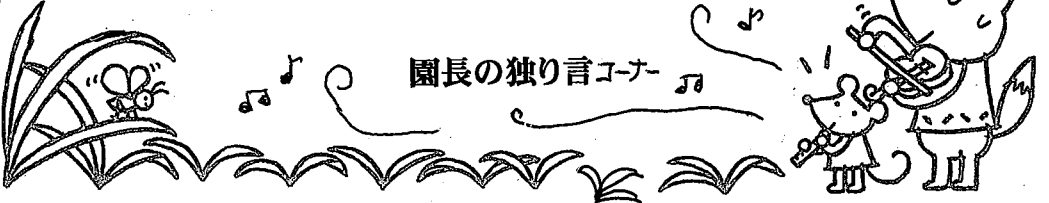
まだまだ暑い日が続いていますが、夕暮れ時の涼しい風やひぐらしの音が、秋の訪れを感じさせてくれます。夏の終わりは、ちょっぴり寂しいですね。さて、週日の夕涼み会は、お休みな中、たくさんの方々に「お越し頂き、誠にありがとうございます。おかげさまで、今年はお天気の心配もなく、最後まで無事に終えることが出来ました。

夕涼み会には、毎年、小中学生や高校生、さらにはパパ地ママにも、7年園児も懐かしい顔を見せに来てくれます。成長して姿を見ることはもちろん、おざわじ時間を作って会いに来てくれるその思いが嬉しく、私達職員にとっても特別なひとときとなっています。

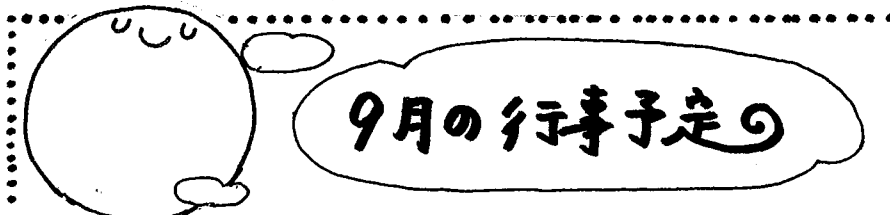
そんな園児の成長した姿を、今、目の前にいる子ども達の未来の姿を重ねながら、今、この子達に出来ることを精一杯頑張りたいと思っています。

今月は運動会に向けて、本格的な練習が始まります。子ども達の頑張りを支えながら、自信につなげていきたいと思っています。

お盆はどのようにお過ごしでしたでしょうか。実家がお寺で僧侶でもある私は、新盆の檀家さんのお宅を今年は40件ほどお伺いしました。軽自動車ですり内を汗だくになって走り回りました。謎のお経を謎の服を着て車でやってくる太ったお坊さんにあげてもらおう事に何の意味があるのかと問われると冷や汗も出ますが、私自身は一生懸命ご冥福をお祈りするばかりです。50代で亡くなられた方も、100歳近くまで生きられた方もおりましたが、地球の40億年という年月に比べれば共に「つかの間の一瞬」に過ぎません。経典に「独生独死」という一文があります。人生には、家族や友人など多くのつながりがあるものですが、私の命というものを考えたとき、たった一人であることに気付かされます。人は一人で生まれて、一人で天に昇っていきます。今、自分は何のために生きてるのか。そして、この先どんな人生を歩んでいきたいのか。そんなことを少しだけ考えたお盆でした。

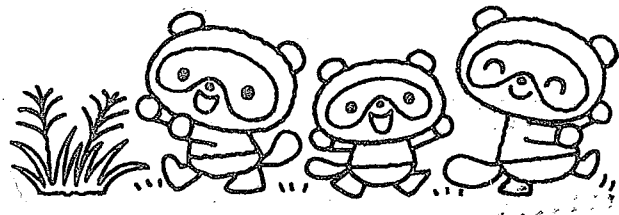


園長の独り言コーナー



9月の行事予定

- 2日(火) ちびこ広場(1天)
- 4日(木) 超群, 茨城キリスト大学生実習開始(~19日)
- 5日(金) リトミック
- 8日(月) そろばん教室
- 9日(火) ちびこ広場(2天), パチルの日
- 11日(木) ちゅうりっぷぐみ遠足<森林公園>
- 12日(金) せりふドーム交流会, 第2回役員会
- 15日(月) 敬老の日
- 16日(火) ちびこ広場(3,4天)
- 17日(水) レインボーお話の会
- 18日(木) 超群
- 19日(金) 体育指導
- 22日(月) そろばん教室
- 23日(火) 秋分の日
- 24日(水) たんぽぽぐみ遠足<ピラマ公園>
- 25日(木) 遊藝会(お祭)
- 26日(金) すみれぐみ遠足<ピラマ公園>



お知らせ

◎ 実習生の受け入れについて
4日(木)~19日(金) 茨城キリスト大学の学生2名が実習に入ります。当園の実習は2回目という事もあり、成長した子ども達に会えるのを楽しみにしてくれているようです。どうぞ宜しくお願い致します。

◎ 遠足について

今月は0~3歳児クラスの遠足を予定しています。詳細につきましては、各クラス保育室の入口ドアにおたよりを掲示し、確認頂けるようお願い致します。持ち物の準備等、お休みな中大変お忙しいと思いますが、宜しくお願い致します。

子どもと向き合うということ

— 一番大切なのは「子どもの笑顔と成長を願う気持ち」です。 —

親子のつき合いは、腕の中に赤ちゃんを抱いて目を見つめ合います。この我が子の一本の感覚、我が子のこころは、みんぱわかん、という感覚は、いつまでも親の心の中には残ってしまっているので、一方、子どもはどんどん成長していきます。子ども自身の意図や意志を持ち、いつの間にか、親の知らない世界へ入っていくので、子どもは親の思いも及ばないよりはこころを感じ取り、考えたりしているのです。

～ 一緒に、少しづつ、一緒に考えて ～

子どもで自分の一部のような感覚ではなく、自分と相対する1人の「人」として見つめてみましょう。私達が1人の大人で子どもに「対峙」するときに、その表情や言動に耳を傾け、丁寧に考えながら「対峙」していくことです。子どもが不安に感じているときは、それを受け止め、スキンシップをとり、笑顔で言葉をかけ、安心感を持ってもらうようにします。不安を乗り越え、前へ踏み出せるよう、その方策を具体的に伝えることも大切です。方策がわからないときは、一緒に考えましょう。親と一緒に考えられる、ということ自体が、子どもの力になるのです。

< PHP のおのび子育てより >

答えを見つかるのは難しいですが、お父さん、お母さんが「一緒に考えてくれる」と実感することで、安心し、問題を解決しようとする意欲や、不安を乗り越えようとする力につながります。お子さんの気持ちや思いに、100%寄り添わせ、理解しようとするのが向き合い、ということ。そして、その思いをしっかりと受け止め、その先へ一緒に踏み出してみたい。それが、お子さんの育ちの支え、後押しになるでしょう。



つなひき参加募集です!!

今年度の運動会は、10月11日(土)に開催予定です。その中で、毎年恒例となっている競技「クラス対抗つなひき」です。今年度は、0,1歳クラスの「年長チーム」、2,3歳クラスの「年中チーム」、4,5歳クラスの「年長チーム」、そして新たに「職員チーム」を合わせて4チームで競技を行います。そこで、このつなひきに参加し下さる保護者を募集したいと思っております!! 1チーム 男女混合で10名と考えると、ぜひ!! という方は、担当にお声掛け下さい。夫婦や友達同士での参加も大歓迎です!! 申し込みは9月16日まで。参加を、お待ちしております!!